

JR 北海道 H100 形電気式気動車(DECMO)量産車



写真1 外観

要旨

北海道旅客鉄道株式会社(JR 北海道)では、老朽化したキハ40形など一般形気動車の置き換え用として、動力伝達方式に電気式を採用したH100形電気式気動車(DECMO: Diesel Electric Car with MOtors)を開発し、2017年度に量産先行車2両を導入した。H100形は、雪国で使用する車両に必要な技術及びメンテナンスを車両設計にフィードバックすることで、従来の一般形気動車と比較して安全性及びメンテナンス性の向上を図っているほか、バリアフリー対応、空調装置の設置、近年増加傾向にあるインバウンドのお客様に向けたワンマンシステムの多言語化対応など質の高いサービスを提供し、より安全で安心な輸送を目指した。

量産先行車は、2冬期に及ぶ各種走行試験を実施し、その試験結果に基づいて改良を加えた量産車を新造した。本稿では、H100形電気式気動車の量産車における量産先行車からの変更点も交えて紹介する。